

ISMS の国際規格「ISO/IEC 27001:2013」の認証を 取得いたしました

フリービット株式会社 技術本部 クラウドインフラ部は、情報セキュリティ・マネジメントシステム（ISMS）の認証を取得いたしました。

1. 規格概要

ISMS（Information Security Management System）とは、情報資産を様々な脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティ・マネジメントシステムです。

国際規格である「ISO/IEC 27001:2013」の認証を取得することをご報告いたします。

2. 取得経緯

近年、情報漏洩や不正アクセスなど情報セキュリティに対する脅威は世界的規模で拡大しており、企業が保有する情報資産のセキュリティ統制に対する要求は、より高まる傾向にあります。

当部では、情報資産の適正な管理体制を整備すべく、情報セキュリティ・マネジメントシステムの構築を推し進めてまいりました。今回の認証取得により、当部の情報資産における管理体制が、国際標準規格に適合したものであると第三者機関に認められます。

当部は、今後も情報セキュリティ・マネジメントシステムの維持・向上に向けて取り組んでまいります。

詳しくは以下をご覧ください。

情報セキュリティ基本方針

第3版

2021年10月05日

フリービット株式会社 技術本部 クラウドインフラ部

部長 馬場健一

当部にとって情報資産（情報および情報システム等）は、クラウドサービスの提供及びそれに付帯する当部のビジネス活動において、利益を生み出していくための源泉でありかつ最も重要な資産でもある。また情報セキュリティ事故を未然に防止することは、社会的な責務である。

当部は、情報セキュリティ上の脅威から情報資産を保護するために、情報資産を正確かつ安全に取り扱い、経営戦略に沿った情報セキュリティを実現するとともに、お客様の信頼に応えていくものとする。

1. 当部は、以下のセキュリティ目的を設定し、この目的を達成するための諸施策を確実に実施する。

【セキュリティ目的】

- ・ お客様との契約及び法的または規制要求事項を尊重し遵守する。
 - ・ 情報セキュリティ事故を未然に防止する。
 - ・ 万一情報セキュリティ事故が発生した場合、影響を最小限にする。
2. 当部は、情報セキュリティに対する当部の取り組みに関する経営陣の意思を表明し、それに基づく主な行動指針を明確にすることにより、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を適切に構築・運用し、重要な情報資産の機密性、完全性、可用性の確保に努める。
 3. 当部は、当部を取り巻く環境の変化を踏まえ、ISMSを適時・適切に見直してその改善を継続的に推進する。
 4. 当部は、ISMSの運営のために情報セキュリティ管理責任者と情報セキュリティ委員会を設置し、運用するために必要な組織体制を整備する。
 5. 当部は、取り扱うすべての重要な情報資産のリスクを受容可能な水準に保つため、リスクアセスメントに関する体系的な手順と評価基準を定め、リスクアセスメントに基づく適切なリスク対策を講じる。
 6. 当部は、ISMSの維持向上のため全部員に対して定期的に教育を実施し、効果を測定する。

登録証本証



フリービット株式会社
技術本部 クラウドインフラ部

東京都渋谷区円山町 3-6

JIS Q 27001:2014(ISO/IEC 27001:2013)
認証番号:MSA-IS-181

貴組織の情報セキュリティマネジメントシステムを審査した結果、
下記の認証範囲において適用規格の要求事項に適合していることを証明します。

認証範囲

クラウドサービス(IaaS、SaaS)の提供

適用宣言書:A-09 第 1.6 版 (2022 年 04 月 08 日)

| | | | |
|---------|------------------|-------|------------------|
| MSA 認証日 | 2016 年 10 月 25 日 | 初回認証日 | 2016 年 10 月 25 日 |
| 発効日 | 2022 年 07 月 27 日 | 再認証日 | 2022 年 07 月 27 日 |
| 有効期限 | 2025 年 08 月 28 日 | | |

MSA 東京都港区浜松町 2 丁目 2 番 12 号
株式会社 マネジメントシステム評価センター

代表取締役社長

藤井信二

藤井 信二

本登録証は電子文書として発行されたものです。
その著作権、意匠及び商標は MSA に帰属します。
この電子文書による本登録証の有効性は tourokubu@msac.co.jp までお問合せください。